

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 309

事務事業名	米穀振興事業
-------	--------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	農林水産部		
課名	農業水産課		
課長名	下玉利 輝幸	内線	266
担当者名	坂部 利充	内線	252

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040101	魅力ある農林水産業の振興
施策		農業の生産性の向上と販路拡大
関連施策		

会計	一般会計	
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
事業コード	020100	

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか			水稻栽培農業者、大村市無人防除ヘリ組合	
意図	対象をどのような状態にしたいか			<ul style="list-style-type: none"> ・稲作が盛んな三浦地区において、従来からの機械の性能をよくすることにより、作業の向上を図り、稲刈りの適切な時期の刈取りにより、米の品質向上につなげる。 ・大村市水稻作付面積の85%以上を防除している大村市無人防除ヘリ組合を支援することにより、市内水稻作付農家の農業経営の合理化、及び安定化を図る。 	
事業概要	意図を達成するために実施することは何か			<ul style="list-style-type: none"> ・コンバイン導入等に要する経費の一部助成 今村機械利用組合 3条刈1台、12.29ha、受委託農家数32戸(うち、今村機械利用組合員数4戸) 松原そばの会 脱皮機・製粉機 各1台 H27年度現在受益面積(H30年度目標面積)4.5ha(6ha)、対象農家数30戸 ・水稻の防除を受託している大村市無人防除ヘリ組合の新型ヘリのリース料経費の一部補助を行う。 	
事業期間	平成 13 年度	～	平成 年度	実施方法	補助
根拠法令、要綱等	新構造改善加速化支援事業費補助金交付要領、長崎県産地パワーアップ事業実施要領、大村市農林水産振興事業補助金交付要綱				
国・県補助事業に係る本市単独施策	有				

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 水稻の作付面積	計画値	563	533	538	539	
		実績値	484	503	487		
		達成度	86.0%	94.4%	90.5%	0.0%	
活動指標	② 水稻の農家数	計画値	1,744	1,699	1,683	1,653	
		実績値	1,744	1,699	1,683		
		達成度	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	
成果指標	① 水稻受益面積(コンバイン)	計画値	37.85	0.00	13.30	12.29	
		実績値	37.85	0.00	13.30		
		達成度	100.0%	#DIV/0!	100.0%	0.0%	
	② 水稻受益農家数(コンバイン)	計画値	55	0	46	32	
		実績値	55	0	46		
		達成度	100.0%	#DIV/0!	100.0%	0.0%	

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画		
① 事業費(千円)	0	0	2,034	2,773	2,100	2,100	2,100	0		
国庫支出金										
県支出金			648	1,849	1,400	1,400	1,400			
地方債										
その他										
一般財源			1,386	924	700	700	700			
② 人件費(千円)	0	0	1,211	913	事業内容	事業内容	事業内容	備考		
職員人数(人)	0.00	0.00	0.17	0.12	コンバイン 1台導入	コンバイン 1台導入	コンバイン 1台導入			
時間外勤務(時間)	0	0	6	20						
嘱託等人数(人)										
フルコスト(①+②千円)	0	0	3,245	3,686						

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	・H27年度導入事業 H27年10月コンバイン(陰平下機械利用組合)。H28年1月脱皮機・製粉機(松原そばの会) ・老朽化した無人ヘリの代替機として新型ヘリを導入し、効率的な運用と共に経費削減を図り、大村市無人防除ヘリ組合の経営を支援し、大村市水稲農業経営の効率化に寄与する。
事業が抱える問題・課題等	後継者、担い手不足、及び農業者の高齢化。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	・農業の重労働は農家にとって負担が大きく、高齢者あるいは担い手が不足している地域では、稲作に係る作業時間の短縮や経費を節減することにより、他作物の取組を充実することができ、農業経営の安定化のために必要である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	本市の期間農作物は水稲であり、安全・安心で高付加価値米の生産を実施するためには、市の関与は妥当である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	・高齢化、後継者の不足等により今後は共同利用機械の利用で省力化が図られ作業の受委託が進む。 ・環境に十分配慮した防除計画により、安全・安心で効率的な米作りを可能とする。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	・農業機械の共同利用で、営農体制の整備が期待できる。 ・減農薬栽培を実施し環境と調和した米づくりの推進により、安全・安心な稲作生産体制の育成に効果があり、農業経営の効率化・安定化に貢献する。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	入札によるコスト削減ができる。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	入札によるコスト削減ができる。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	28年統合
--------	------	-------

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	・農業後継者が不足する中、省力機械を導入することで、作業の省力化、効率化、農業経営の安定化を図ることが必要である。 ・大村市無人防除ヘリ組合の無人ヘリの入替により、同組合の経営安定を図り、今後の水稲防除を円滑に推進する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。